

サステナブルなイベントのつくり方 ～ロンドンオリンピック・パラリンピックでの事例から学ぶ～

日時：2014年3月18日(火) 15:30～17:30(受付開始:15:00)

会場：関西学院大学 東京丸の内キャンパス ランバスホール

東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー10階 (JR東京駅八重洲北口より徒歩1分) 会場案内図:下図参照

主催：経済人コー円卓会議日本委員会
株式会社セレスポ
SGSジャパン株式会社

対象：CSR及びCSR関連部門担当者

定員：30名

参加費：無料

使用言語：日本語・英語(通訳あり)

締切：3月14日(金)

会場ご案内図



プログラム

- 15:00～15:30 受付
- 15:30～15:35 開会挨拶
- 15:35～16:20 講演 サステナブルなイベント運営のためのスタンダード-ISO20121
ISO20121国際会議 元議長 フィオナ・ペラム氏 (MD Fiona Pelham)
- 16:20～17:10 ロンドンオリンピック・パラリンピックでの事例紹介 ※ビデオメッセージ
・インフラ建設とサステナビリティ
ODA サステナビリティ部長 リチャード・ジャクソン氏 (Richard Jackson)
・企業スポンサーとサステナビリティ
チームプラネット ディレクター サイモン・ルイス氏 (Simon Lewis)
・セキュリティとサステナビリティ(ダイバーシティへの配慮)
イニシアティブ オブ チェンジ アスマ・ジーナ氏 (Asma Jhina)
- 17:10～17:20 まとめ、次回の予告

ロンドンオリンピック・パラリンピックは、招致・準備段階・実施そして、実施後にまでわたる、すべての段階においてサステナビリティの概念を包括的に取り入れ、その取り組みを具体化させた初のオリンピック・パラリンピック大会でした。

大会実行委員会は、サステナビリティに関連するポリシーやプランを策定し、数多くの人々がその実現のために力を尽くしました。

このセミナーでは、サステナブルなオリンピック・パラリンピックの実現に向けた大会実行委員会と企業との関わりについて、企業を中心に紐解いていきます。

2回シリーズの第1弾である今回は、ISO20121策定における国際会議議長を務めたフィオナ・ペラム氏より、その概要をご説明頂きます。

ISO20121はイベントサステナビリティについてのISO規格であり、ロンドンオリンピック・パラリンピックにおいて採用されました。

後半では、「インフラ建設」「スポンサーシップ活動」という面から、大会実行委員会と関係する企業がどのような取り組みを行ったのかについて、理解を深めてまいります。なお、4月に開催する予定の第2弾では、「サプライチェーン」「ボランティア活動」という面から、企業が果たした役割について考察する予定です。多くの方のご参加をお待ち申し上げます。



フィオナ・ペラム氏
(MD Fiona Pelham)
ISO20121国際会議 元議長

参加お申込及びお問い合わせについて

参加お申込については、以下のWebお申込フォームよりお願いいたします。

http://jump.cx/sus_event2

(もしくは<https://business.form-mailer.jp/fms/6dd7011a29855>)

お問い合わせは以下までお願いします
経済人コー円卓会議日本委員会(担当:岡田、鈴木)
お問い合わせフォーム:<http://jump.cx/crtcontact>
電話:03-5728-6365

